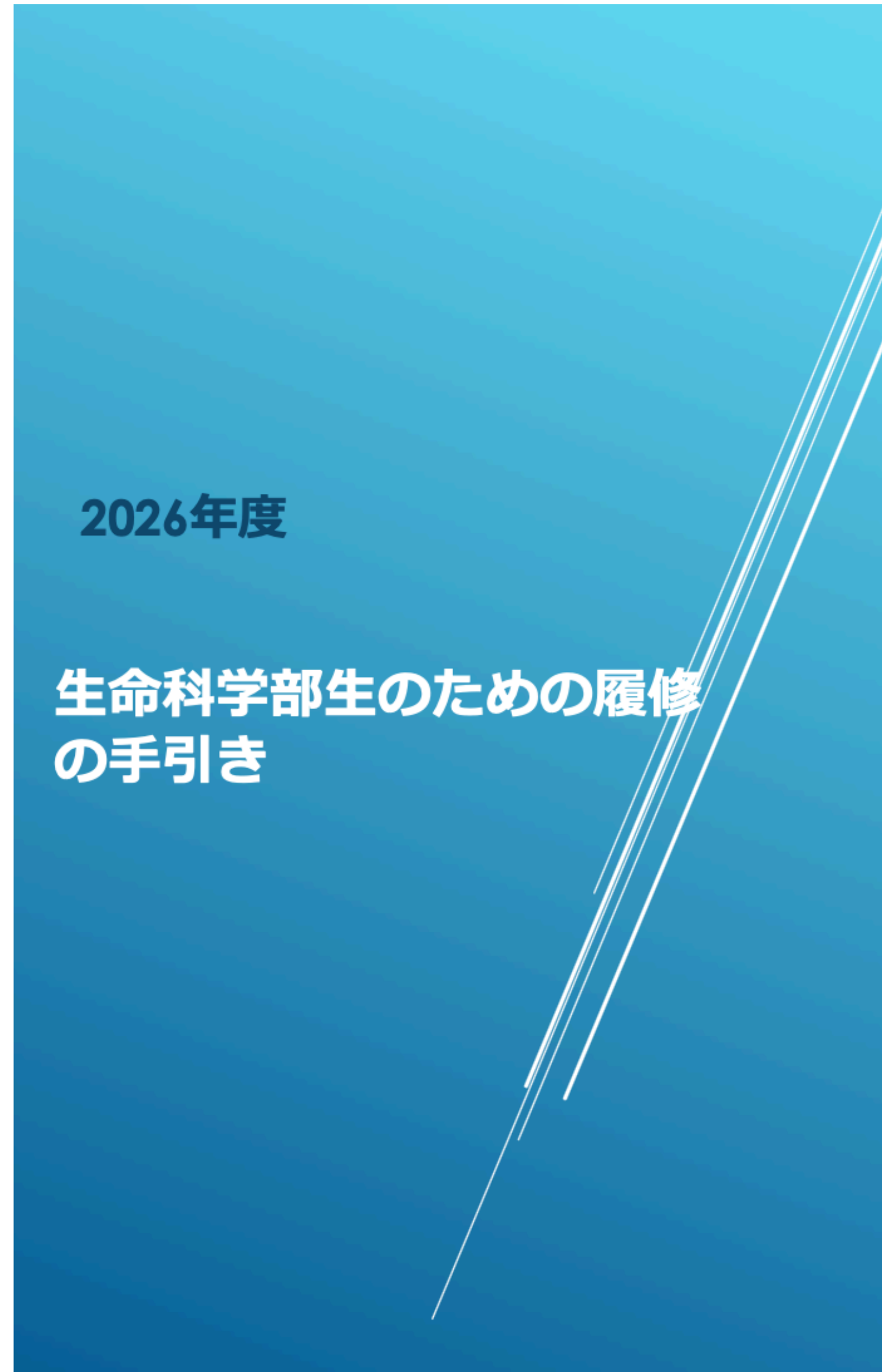


履修と時間割表について

西川正俊

履修の手引き



履修の手引きの内容をまとめて話します。

詳細は履修の手引きにあるので、必要に応じて参照してください。

<https://hosei-hondana.actibookone.com/content/detail?param=eyJjb250ZW50TnVtIjo3MTMwMDJ9&detailFlg=1&pNo=1>

教育課程・卒業所要単位

詳しくは3ページの表を参照

科目系列	必要単位数		
教養系科目	英語科目	8 単位	計 32 単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)
	教養科目	24 単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)	
	理系教養科目		
専門教育科目	学部共通科目	80 単位以上 (内訳は学科、入学年度により異なる)	計 124 単位以上
	学科共通科目		
	学科専門科目		
	専修専門科目		
自由選択科目	12 単位以下		
教職・各資格関係科目	卒業所要単位には含まれません		

授業科目を履修し合格すれば単位を得る



4年以上在籍して計124単位以上で卒業！

進級要件

詳しくは33ページの表を参照

		教養系科目			専門科目	自由選択科目	合計
		英語科目	教養科目 (人文・社会・自然 科学系・保健体育 系・選択語学系リテ ラシー系)	理系教養 科目 (数学系・ 理科系)	学部共通科目 学科専門科目		
1 年 次	2年への 進級要件				15単位以上（「生命機能学基礎実験Ⅰ」「生命機能学基礎演習Ⅰ」を含めた必修11単位を含む）		30単位 以上
	履修上の 留意点	<ul style="list-style-type: none">・少なくとも40単位以上の修得を目指すこと。・配当年次の必修科目は必ず履修登録すること。					

教養系科目

詳しくは7ページの表を参照

- 英語科目（必修科目）
- 選択語学系（と言いながら生命機能学基礎英語は必修）
- 数学系（線形代数と微分積分）
- 理科系（科学実験、物理学基礎など）
- リテラシー系
- スポーツ健康科学系
- 人文・社会・自然科学系

2年生配属

- 科学実験I・II・IIIの修得が必須
- 生命機能学基礎英語I・IIの修得が必須
- 高いGPAが求められる (> 2.4を推奨)

教養系科目

入門数学・入門物理学・入門化学

- 数学や理科の基礎学力に不安のある人向け
- プレースメントテストの結果等を元に受講推奨の連絡
- 卒業要件には加算されませんが、4年間の学びを順調に進めるための基礎固め

専門科目

詳しくは36ページの表を参照

学年	学部共通科目	学科専門科目
1年	○分子生物学Ⅰ ○分子生物学Ⅱ ○生物化学Ⅰ ○細胞生物学Ⅰ 基礎有機化学Ⅰ 基礎有機化学Ⅱ グリーンケミストリ (環境と人間) ※ 植物分子細胞生物学 植物医科学概論 植物薬理学	○生物化学Ⅱ ○生物物理学Ⅰ ○生物物理学Ⅱ ○細胞生物学Ⅱ 計算機科学概論Ⅰ 計算機科学 生物統計学 ○生命機能学基礎実験Ⅰ ○生命機能学基礎演習Ⅰ フロンティアバイオサイエンス

○は必修科目

学年	学部共通科目	学科専門科目
1年	○分子生物学Ⅰ ○分子生物学Ⅱ ○生物化学Ⅰ ○細胞生物学Ⅰ 基礎有機化学Ⅰ 基礎有機化学Ⅱ グリーンケミストリ 環境と人間 ※ 植物分子細胞生物学 植物医科学概論 植物薬理学	○生物化学Ⅱ ○生物物理学Ⅰ ○生物物理学Ⅱ ○細胞生物学Ⅱ 計算機科学概論Ⅰ 計算機科学 生物統計学 ○生命機能学基礎実験Ⅰ ○生命機能学基礎演習Ⅰ フロンティアバイオサイエンス入門
2年	△蛋白質構造機能学Ⅰ △蛋白質構造機能学Ⅱ △細胞構造機能学Ⅰ △細胞構造機能学Ⅱ 機器分析学 分子微生物学 環境安全化学 分析化学 バイオエンジニアリング 応用環境化学 物質構造化学 微生物生態学 植物バイオテクノロジー概論 植物細菌学 植物ウイルス学 植物病学概論 生物学と化学のための数学	△ゲノム構造機能学Ⅰ △ゲノム構造機能学Ⅱ △生体分子分析学Ⅰ △生体分子分析学Ⅱ 発生生物学 生理病理学 生命科学データベース論・演習 生命機能学実験Ⅰ ○生命機能学基礎実験Ⅱ ○生命機能学基礎演習Ⅱ 物理化学概論Ⅰ 物理化学概論Ⅱ
3年	遺伝子工学 ※ 蛋白工学 分子薬理学 食品科学 バイオインフォマティクス ケミカルバイオロジー 高分子化学 生物有機化学 物質機能化学 物質変換化学 物質循環化学 バイオマテリアル 分子エレクトロニクス 植物メディカルゲノム学	細胞工学 生体超分子 細胞情報学 バイオエナジェティクス 医用生体工学 バイオイメーキング 神経科学 分子免疫学 構造生物学 生命機能学実験Ⅱ ○生命機能学研究Ⅰ ○生命機能学演習Ⅰ
4年		生命機能学研究論文 ○生命機能学研究Ⅱ ○生命機能学演習Ⅱ ○生命機能学研究Ⅲ ○生命機能学演習Ⅲ

(注1) 生命機能学基礎演習Ⅰ・Ⅱおよび生命機能学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは各1単位
 (注2) 生命機能学研究論文(4単位・通年)の履修は、原則として生命機能学実験Ⅰ、Ⅱを履修していることを前提とする。履修登録する場合は事前に指導教員に相談すること。
 (注3) (注1、2)に記載した科目以外の科目は2単位
 (注4) ○は必修科目
 (注5) △は基幹科目で修得を推奨
 (注6) 「生命機能学実験Ⅰ」の履修は「生命機能学基礎英語Ⅰ」、「生命機能学基礎英語Ⅱ」および「科学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」の修得が条件、「生命機能学実験Ⅰ」の履修は1年次のGPAが2.4以上であることを推奨
 (注7) 「生命機能学実験Ⅱ」の履修は「生命機能学実験Ⅰ」の修得が条件
 (注8) 「生命機能学英語Ⅰ」の履修は「生命機能学基礎英語Ⅱ」の修得が条件
 (注9) 「生命機能学研究Ⅲ」の履修は「生命機能学研究Ⅱ」の修得が条件
 (注10) 「生命機能学演習Ⅲ」の履修は「生命機能学演習Ⅱ」の修得が条件
 (注11) 「生命機能学英語Ⅲ」の履修は「生命機能学英語Ⅱ」の修得が条件
 ◎ただし、生命機能学研究・生命機能学演習・生命機能学英語のⅡ、Ⅲの履修登録は、4年春学期に同時に行って構わない。
 ※環境と人間、遺伝子工学は2026年度休講。

→ (最悪でも) 2年次までに習得

履修登録

詳しくはリンクのweb履修の手引きを参照

- Webで履修登録
- 春学期・秋学期・通年科目すべてを登録

履修登録受付期間(理工・生命科学部共通)

受付期間：4月6日(月) 10:00~4月21日(火) 26:00

※上記期間内に、必ず履修登録を完了させてください。

https://www.hosei.ac.jp/application/files/3117/7424/8929/2026webrishuu_seimei.pdf

履修計画について

時間割

	月曜日～金曜日			土曜日
	小金井キャンパス	市ヶ谷キャンパス	多摩キャンパス	全学共通時間割 (Saturday Timetable)
1時限	9:00～10:40	8:50～10:30	9:20～11:00	9:00～10:40
2時限	10:50～12:30	10:40～12:20	11:10～12:50	10:50～12:30
昼休み	12:30～13:20(50分)	12:20～13:10(50分)	12:50～13:40(50分)	12:30～13:10(40分)
3時限	13:20～15:00	13:10～14:50	13:40～15:20	13:10～14:50
4時限	15:10～16:50	15:00～16:40	15:30～17:10	15:00～16:40
5時限	17:00～18:40	16:50～18:30	17:20～19:00	16:50～18:30
6時限	-	18:35～20:15	-	18:35～20:15
7時限	-	20:20～22:00	-	20:20～22:00

1. 教養・専門の必修科目を時間割に入れる
2. 空いた時間に履修推奨科目を入れる
3. 自分が興味を持つ科目を入れる

履修上限49単位（学期30単位以下）

履修登録科目の確認・確定

詳しくはリンクのweb履修の手引きを参照

○履修登録不備申し出期間

確認通知書を確認し、登録の不備や申請ミスを発見した場合には下記期間内に学部窓口で相談してください。

この期間を過ぎての申し出は原則認められません。

4月23日（木） ～ 5月8日（金）

○春学期履修登録取消申請受付期間

履修登録受付期間内に登録した内容で、科目の取消を希望する場合、次の日程で取消のみ受け付けます。

受付期間：5月7日（木）10：00～5月8日（金）26：00

上記取り消し期間には、「申請した科目の取り消し」が可能です（追加・修正はできません）。

○保存用履修登録科目確認通知書の印刷と確認について

春学期履修登録期間後にエラーが無ければ登録内容が確定します。

**必ず保存用に履修登録科目確認通知書を出力し、不備がないか確認したうえ、
成績が通知されるまで、保管してください。**

保存用履修登録科目確認通知書印刷期間

4月23日（木）10：00 ～ 6月30日（火）26：00

https://www.hosei.ac.jp/application/files/3117/7424/8929/2026webrishuu_seimei.pdf

成績評価・GPA

詳しくは81ページを参照

評価：試験・レポートや平素の学習状況で決まる

合否基準	合格（単位修得）										不合格	
評価	S	A ⁺	A	A ⁻	B ⁺	B	B ⁻	C ⁺	C	C ⁻	D	E
評価基準 (点)	100 ～ 90	89 ～ 87	86 ～ 83	82 ～ 80	79 ～ 77	76 ～ 73	72 ～ 70	69 ～ 67	66 ～ 63	62 ～ 60	59 以下	未受 験等

GPAの算出法

評価	S	A ⁺	A	A ⁻	B ⁺	B	B ⁻	C ⁺	C	C ⁻	D	E
GP	4.0	3.3	3.0	2.7	2.3	2.0	1.7	1.3	1.0	0.7	0.0	0.0

$$\text{GPA} = \frac{\text{〈履修登録した科目の GP} \times \text{その科目の単位数〉の総和}}{\text{履修登録した全科目の総単位数}}$$

ERP(英語強化プログラム)のご紹介

ERP(英語強化プログラム)は、ネイティブスピーカー講師による英語スキルの養成とその統合を目的としたプログラムです。将来、海外留学や国際的な企業・機関への就職を検討している方や英語力をさらに伸ばしたい意欲のある方におすすめてです！

注目すべきポイント！

- ・ 1クラス15名程度の少人数授業
(3キャンパスで対面及びオンラインで開講)
- ・ 授業はオールイングリッシュ
- ・ listening, speaking, reading, writing の4技能統合を重視した授業
- ・ 受講料は無料(教材費のみ必要)
- ・ 受講にはTOEIC500点以上が必要
(英語が好きで、モチベーションの高い学生が多く受講します。)
- ・ 卒業に必要な単位に含めることが可能
(所属学科の規定を要確認)

ガイダンス動画を視聴してみましよう！

※詳細はグローバル教育センターHPを参照

https://www.global.hosei.ac.jp/on_campus/erp/

ガイダンス動画

興味のある方はグローバル教育センターのHPにある『ERP説明動画』を視聴して下さい。

https://www.global.hosei.ac.jp/on_campus/erp/01/

「法政大学グローバル教育センター」→「学内でできるグローバルプログラム」→「ERP」→「概要」

動画を視聴後、受講を希望する場合は、HPの説明に従って申し込みを行って下さい。

必修科目と重なって春・秋学期に受講できない場合は、夏休みの集中講座もあります！

2026年度 春学期

ERP

(英語強化プログラム)

募集案内

ERP（英語強化プログラム）は、英語スキルの養成とその統合を目的としたプログラムです。
将来、海外留学や国際的な企業・機関への就職を検討している方はもちろん、英語力をさらに伸ばしたい意欲のある方に受講をおすすめします。

✓ 英語力の総合的な底上げ

listening, speaking, reading, writing の4つの技能統合を重視した授業！

✓ 留学準備・留学後のフォローアップ

実用的な英語が身に付くので、留学前の準備や留学後の英語力維持に。

✓ 教授言語は英語

授業は全て英語で実施されます。

✓ 少人数授業

1クラス15名程度で、双方向の授業ときめ細かい指導。

